

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間：2024年12月

結果公表日：2025年3月27日

回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 100%

保護者様： 16名回答、回答率 76%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・指導訓練室などのスペースを踏まえ、日々サービスを提供している。
- ・パーティションや相談室を使用することで個別空間を確保している。
- ・送迎について他教室に協力を仰ぐ場合もあり、安全管理の観点も含め職員配置に工夫が必要である。

○業務改善

- ・毎日教室内ミーティングを行っており、利用者の情報共有を行っている。また利用者の退出後には、1日の振り返りを行い情報交換を行えている。
- ・個別支援計画の作成にあたって策定会議を行い、教室全体で支援について考える機会を設けている。
- ・療育参観・保護者会を実施した。

○適切な支援の提供

- ・毎月のテーマに合わせて意見を出し合い、毎月の療育活動を決定している。生徒の特性を考慮した活動を取り入れるなど、生徒に合わせたプログラムを考えている。
- ・プログラムの固定化を防ぐため職員間で分担し、チームで連携しながら支援を行っている。
- ・教室全体で正しい記録の作成を日々徹底しており、書類に不備がないかダブルチェックを行っている。

○関係機関や保護者との連携

- ・移行支援、地域連携等の関係機関連携が難しかったが、今後は相談支援などとの連携を強化していく。また、家族連携を通じて生徒の様子共有を行っていく。
- ・他教室利用の方については、保護者の同意を得たうえで教室間での情報共有を行っている。

○保護者への説明責任等

- ・毎月のニュースレターで次月の療育目標や活動予定のお知らせや前々月の振り返り報告を行っている。
- ・今年度には療育参観と保護者会を実施した。今後も年1回以上実施するよう検討していく。

○非常時等の対応

- ・毎月必ず、避難訓練を行っている。地震・火事・水害など様々な避難訓練を行っている。
- ・定期的に虐待防止研修・身体拘束防止研修を実施している。日々の支援の振り返りを行うとともに、生徒一人一人に適切な支援について検討する時間を設けている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・生活空間、設備等の配慮については、ほとんどの保護者から適切であるご回答いただいた。
- ・多くの保護者から適切な職員配置であると評価いただいたが、「短期間に職員の入れ替わりが多い」「配置数が満たされているかは分からない」とのご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・多くの保護者から生徒と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されているご回答いただいた。
- ・活動プログラムについては、ほとんどの保護者から良い評価をしていただいた。
- ・「登室時間が遅いため支援を受ける時間が足りていない」とご意見があった。

○保護者への説明等

- ・保護者への説明や生徒の様子のご共有について、満足しているご回答いただいた。
- ・相談や申入れをした際に適切に対応されているかについては「送迎時刻の調整やスポット利用など状況を伝えると理解を示され温かく協力していただいた。」のご意見をいただいた。
- ・ブログ等については、「定期的に更新を希望したい」とご意見があった。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについて、「わからない」というご意見が数件あった。

○満足度

- ・安心感をもって通所しているか、通所を楽しみにしているか、事業所の支援に満足しているかという回答に対して多くの保護者に満足していると評価をしていただいた。
- ・「運営時間をもう少し長くしてほしい」とご意見があった。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・送迎等を通じて保護者の声に耳を傾け、信頼関係の構築を図っていく。
- ・定期的なブログ更新による情報発信やオンライン等を活用した保護者会を実施していく。
- ・長期休みを利用した課外活動取り組みを行い、体験を通して生徒の成長を育んでいく。
- ・近隣の事業所や児童館等地域交流の活性化。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・改善出来た点:療育参観・保護者会を開催できた。
毎日のミーティングや策定会議に限らず、生徒・保護者の変化、状況などをスタッフ間で共有する時間を設け、支援の検討を行った。
- ・まだ残る課題:ブログの更新ができず、情報発信が出来ていなかった。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・毎日のミーティング等を通して、職員間で意見の交換時間を設けている。
- ・全職員で支援計画・療育活動等チームで考え、日々の支援を行えている。
- ・活動について職員間で相談したうえで活動内容を決め、固定化されないよう工夫している。
- ・日常の送迎を通じて、定期的に保護者の相談を聞く機会を設けている。

○改善点

- ・定期的にSNS等で活動概要や業務に関して発信されているかについて「わからない」というご回答が数件あった。また「ブログ等による日々の生活の様子を発信を希望する」というご意見があったが、実施できていない。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会について「いいえ・わからない」という回答が8割あり、現状教室状況により未実施となっている。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・毎日教室内ミーティングを実施し、生徒・保護者の状況や変化などの共有を行っていく
- ・教室内ミーティングや策定会議を通じて、生徒一人ひとりに対するよりよい支援方法について教室全体で検討する時間を設ける。
- ・保護者会の実施。ブログの更新。

○1年間で取り組む具体策

- ・年に1回以上、オンライン等を活用した保護者会を実施する。また担当者を決め、ブログを更新していく。
- ・個別支援計画に基づいた、統一した支援を行えるように教室全体で支援の検討を行う。毎日の教室内ミーティングの場に限らず、日々の変化を共有する時間を設ける。
- ・近隣教室と合同的な療育活動を実施し、地域の他のこどもと活動する機会を作っていく。